第９回 世界自閉症啓発デー　アンケートまとめ

2017.4.4（火）開催　　　参加：200　　回収：66

Ｑ１．あなたのお立場は？ （複数回答可）

　　　　A．当事者・家族 　　29　（高槻市内　19、　市外　10）　　44.0 ％

　　B．教育関係　　 　　　2　（市内　　2）　　　　　　　　　　　　　3.0 ％

　　C．福祉関係　 　　　23　（市内　　11、　市外　12）　　 34.8 ％

　　D．医療関係　 　　　　0 0.0 ％

　 E．その他 　　　12 (市内　　10、　市外　 2)　　　　18.2 ％

（NPO関係、企業、一般市民、CAP、各　１）

　　　　未記入　　　　　　　　　1　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 1.5　％

Ｑ２．今日のこの催しを何で知りましたか？（複数回答可）

A．チラシ　　　　　　　　　46

（事業所6、 学校5、 親の会・はぐくみ・WAAD実行委4、 高障連・ルーロー4、 療育3、

知人・友人3、 市役所3、　カンガルー、ゆうあい、自治会、図書館、児童養護施設）

　　　B．ポスター　　　　　　　　1　　（生活支援センターすまいる）

C．ケーブルテレビ　　　　0

D．高槻市の広報紙　　13

E．その他　　　　　　　　　9　　（知人3、インターネット2、市HP、仕事、家族に誘われて、Facebook）

※Q.５の「初めて参加」：　チラシ　8　（事業所2、市役所、桜台小の玄関、図書館、児童養護施設）

高槻市広報　5 その他　3 （市HP、知人・家族）

Ｑ３．お住まいはどちらですか？

A．高槻市内　　　　　　42　　　　63.6 ％

B．高槻市外　　　　　　23　　　　34.9 ％

（茨木市　8、 大阪市　4、 枚方市　3、 吹田市　2、 箕面市、 島本町、

京都府大山崎町、長岡京市、京都市、 兵庫県宝塚市）

　　　　未記入　　　　　　　　　　1　　　　　1.5 ％

Ｑ４．今回なぜ参加しようと思いましたか？（複数回答可）

　A．自閉症を知りたいから 46 69.7％

　　B．無料だから　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 9 13.6％

　　C．手話・筆記通訳があるから　　　　　　　　　　　　　　　2　 3.0％

D．保育があるから　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 1　 1.5％

E．これまでのこのイベントに参加して良かったから　 23　 34.8％

F．その他 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 9 　13.6％

（勉強したいから、娘（43歳）も自閉症なので関心があって、息子（49歳）が精神障害者2級なので当事者および家族の方の生活が知りたかった、子どもが大きくなった時の参考に、わが子の将来に希望がほしい、米田さんの写真を見たかった、この映画を観たかった、

興味あるテーマだった、毎年参加している）

Ｑ５．自閉症をテーマとしたイベントや講演会などに参加されたのは初めてですか？

A．初めて　　　　　　　　　　　　　　　　15　　　22.7 ％

B．以前に参加したことがある　　　　59 74.3 ％

未記入　　　　　　　　　　　　　　　　 　2 3.0 ％

Ｑ６．この催しに参加して、自閉症の人達に対しての印象はどう変わりましたか？

　・とても上手に写真を撮られているのを見て子どもの将来に対しても選択肢が増えた。とてもきれいな写真でした。

　・大人になっても、色々なサポートで自分の得意な分野で活躍できるのだと思いました。

　・とてもおもしろかったです。印象は、これからも色々な方と接していきたいと思いました。

　・わが子に接する態度を再発見した。

　・その子その子に合ったコミュニケーションの取り方があると思いました。その方法を一緒に探していきたい。

　・日常の中で共に生きていける社会にしないといけませんよね。

　・ミニトークがとても良かったです。人って、本当に変わっていくことができるんですね。気づいてくれる人、認めてくれる人がいれば。

　・娘は広汎性発達障害ですが、いろんな自閉スペクトラム症を知りたい。

　・こちらの伝え方に問題があるのであって、本人の問題ではない

　・映画のほうも凄く良かったし、ミニトークが凄く良かったです。

　・伝える側の言葉が足りないだけなのだ。

　・障害になっているのは私たちのほうだというメッセージが伝わってきました。

　・工夫するとできることが多いこと、その時の気分でできる時とできない時があることなど。自閉症の方の可能性、感性の鋭さを感じることができました。

　・理屈でなく、何回も接触することが大切と思った。

　・その人のことを知ろうとして、知れば信頼関係ができ、楽しくつきあえる。

　・お兄さんのお話が、心に伝わりました。

　・「写真」という日常にある一つのツールを使って周囲とコミュニケーションが取れることが素晴らしいと思った。お母様のような「サポート」をする人の存在がとても大事だと思った。

　・1人1人個性が本当に素敵で、奥深くて、限りない可能性を感じました。

　・理解しやすいようにかかわる、接することの大切さを改めて思いました。

　・子育てに色々悩みましたが、何か一つ親がいなくなってもささえになる物を持たせたいと考えてきましたが、米田君は「写真」ですが、うちの娘は「ヘルマン・ハープ」を8年やってきました。何とか本人のささえになる物を続けていけたらと思います。

　・可能性や能力を引き出すような関わりをしていきたいと思った

　・内面にたくさんの想いを込めて、たくさんの可能性をひめているんだな、と思いました。

　・周りの人の気遣いがあれば、人生を楽しく過ごせるのだと思いました。

　・とてもステキな笑顔に心が和みました。飾らない素の祐ちゃんが他の見る人に前を向いて進む光を見せてくれたなぁと感じました。お母さんのポジティブな生き方に感動です。

　・障壁にならないよう、心がけたいです。

　・伝え方の大切さを感じた

　・何かお手伝いできる事はないかなぁと思いました。

　・支えている支援者は管理しようとしているだけ、心に響きました。

　・素直（正直）な気持ちや自分の好きなものを大切にしているなぁ、チャレンジ精神があるなぁ、と感じました。

　・自閉症への支援として、環境を「視覚化」するというアプローチがありますが、米田さんは環境を自ら写真という形で「視覚化」していることそのものが、まず興味深く思いました。それでいて、写真そのものも大変良い構図でびっくりしました。

　・とてもステキな映画でした。日常の生活の中で暮らしている中でのカメラ、いつもマイペースで生きている祐二さんに多くを教えられた気がします。

　・どんな体験をするのかで、いくつになっても人は成長できるのだなと思いました。お兄さんやお母さんのお話にとても心を打たれました。

　・障害当事者の立場に立っているつもりで、決してそうなっていないという点をトークの中で気づかされた。

　・見た目ではわからない、ごくごく普通の人だと思いました。

　・私自身、自閉症の子を育てているので、大人になった自閉症の人たちがどのように社会と関わっているのか興味があります。

　・いろんな生き方が出来るのだなと思えました。言葉の表現の成長を見させてもらってうれしかったです。

　・時間がかかるけど私たちと同じように理解ができるように、めげずに集中してがんばれる人たちだということが分かりました。とても純粋ですね。

　・人それぞれの違い、人として、みんな同じ

　・自閉症の人たち 知的障害者の人たちは おとなしい人とうるさい人だけで 特に差別はしていない

　・よく勉強になりました。

　・昨年末にテレビで自閉症作家の東田直樹様の活躍を拝見し、図書館での本を読ませてもらって感動。今回も同様で、持てる「力」をどう引き出せるか？の大切さを学びました。

　・おかあさんをはじめ周りの人の明るい表情が印象的で、本人にとってこれが一番大切だと感じました。自閉症の人も私たちといっしょ、と思いました。

　・集中力、こだわりがあって、まっすぐな人たちですね　　　　　　　　・普通

　・成長とともに言葉や印象深い記憶を話せるところが印象的でした。息子の支援の仕方の参考になりました。

　・まわりの人のすごさがあった。今回で自閉症のことがわかったとは思わないけど、かわいい人だなと思う。

　・私も発達障害の子がいるので（大人になって分かったので本人の苦しみに気づきが遅かった）早く分かってよかったなと思いました。気づきと本人の秀でる才能を見つけるのがとても大切と感じました。

　・本作では、デジタルカメラというツールによって、世界や社会とつながり、コミュニケーションをとることができる祐二君の姿が描かれている。自閉症の人たちはコミュニケーションが取れないのではなく、その方法が違うだけなのだと感じました。

　・自閉症を一括りにして見ていましたが、この催しに参加して自閉症と診断を下された人々でも個々に個性があり、成長されていくんだなと思いました。

　・自閉症の人について、無表情で、感情を示さない、付き合いにくい人という印象を持っていたが、祐二さんのように、何らかの手段を持つ人も多いのかな

　・大きく変わりませんが、あらためて知る事、理解することが大切、そんな機会に出会おうとすることが大切。全ての行動には理由がある。そこを探ろうとすることが大切。

　・とても素晴らしい映画でした。祐ちゃんの成長が良くわかって、自閉症の人に接する時の心構えと気づきを教えて頂きました。

Ｑ７．今後どのような内容を期待されますか？その他お気づきの事をお書き下さい。

　・今日のように、自閉症の方や医療や福祉の講演をしてほしい。接し方や問題（本人もひきこもるが親もそんな方が多い）、療育をしてくれない・できない、親のストレスはどうすれば良いか　　等。　　頑張って下さい。

　・自閉症の事をみんなにより深く知ってもらえるようなイベントをこれからも続けて下さい。

　・毎年、ありがとうございます。

　・「私たちのほうが障害になっている」…ほんとそうだなと思いました。

　・自閉症の方々からは世間がどのようにうつっているのか知りたい

　・祐二君の写真展が大阪であれば見に行ってみたいと思います。

　・映画はいいですね。とてもよく理解できると思います。

　・継続的に活動していただければ幸いです。

　・今回のように、映画と作り手のお話、とてもとても良かったです。一般市民にも分かりやすく、当事者や家族が聞いても傷つかない、希望の持てる内容がいいです。

　・ダウン症の弟がいます。映画の中のお兄ちゃんの言葉にとっても共感し、そうそう、と思うことばかりでした。ご本人さん方々のお話も含め、感動しました。ゆうじくん、これからもたくさんステキな写真とって下さいね(^.^)

　・障害を持った方の兄弟姉妹の方のお話がききたいです。

　・いろんな方の成長物語は、自閉症の子を持つ親の希望の物語になると思うので、ぜひまた取り上げていただきたいです。続編また見に来ます。

　・障害を受容できない父親に対するアプローチについて

　・今回のように、障害のある様々な方々の活動を見たいと思いました。

　・本日はありがとうございました。素晴らしい時間を重ねてお礼申し上げます。

　・前にTVで見たのですが、映画「みずほ太鼓、やさしい音をひびかせて」をぜひここで上映してほしいです。レンタルビデオ屋に行っても見当たらないので、お願いします。祐二君の続編も必ず観に来ます。

　・どんな形かはわかりませんが、協力していきたい。

　・色々な障害のことを知りたいです

　・また精神障害の方々の映画などあれば、来てみたいです。

　・障害者の兄弟（姉妹）の考えや過ごし方が聞けてよかったです。今後もこのような内容の話も伺いたいです。

　・大人の発達障害

　・映画の中では、現在の社会において生じる様々な問題やネガティブな側面があまり描かれていなかったので、どういった問題があるのかが、あまりわからなかったので、その点が気になったが、全体としては良い催しだったと思います。

　・自閉症が周囲に認知されていきますとともに、誤った解釈が広まらないように期待しています。

　・美しい写真を切り口に、多くの人が足を運ぶきっかけになればいいと思います。

　・ありがとうございました。祐ちゃんの成長される姿をもっと身近にみたいので、引き続き、映画の上映を楽しみにしています。貞末さん頑張って下さい！

　（Q.６、Q.7は、誤字脱字以外ほぼ原文どおり）

　　　以上